

## 組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	生活安全課
職	課長
氏名	兼政 隆志

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
① 県民が安全、安心に消費生活を営むことができる社会の実現に向けて、各種施策を実施する。 ② 交通事故のない社会をめざして、県民総ぐるみによる交通安全対策に取り組む。 ③ 県民や事業者、自治会等とともに、犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進する。	



組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か				
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか				
① 消費生活相談体制の充実・強化や消費者教育の取り組み、不適正な取引行為の規制等により、安全安心な消費生活社会の実現をめざす。 ② 総合的な交通安全対策を進めるとともに、交通ルールの遵守やマナーの重要性について官民挙げた交通安全県民運動の展開等により、県民意識の醸成、高揚を図る。特に高齢社会が今後ますます進展する中、高齢者が事故に遭わない、起こさないように、高齢者の交通事故対策の推進を図る。 ③ 「自分の身は自分で守る」という防犯意識についての県民理解の醸成、県民参加意識の高揚を図るとともに、自主防犯活動の推進と団体の育成により、安全で安心な地域社会の実現をめざす。					
(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
① 市町での消費生活相談受付割合	59 %	R2 年度	70 %	R7 年度	石川県長期構想
② 年間の交通事故による死者数	40 人	R2 年	30 人	R7 年	第11次石川県交通安全計画
② 年間の交通事故による重傷者数	258 人	R2 年	210 人	R7 年	第11次石川県交通安全計画
③ 自主防犯ボランティア団体数	441 団体	R2 年度	450 団体	R3 年度	



令和3年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
① 市町の消費生活相談体制の充実・強化への支援	住民に最も身近な市町における消費生活相談体制の整備を進め、「石川県消費者教育推進計画」に基づく消費者教育の取り組みが推進されるよう、消費者行政強化交付金を活用し支援する。
① 消費者教育の推進	市町や教育機関等と連携し、幼児期から高齢期までの各年代における体系的・効果的な消費者教育を推進する。
② 県民総ぐるみによる交通安全活動の推進	県民一人ひとりの交通安全意識の高揚と良識ある交通マナーの実践を図るため、石川県交通安全県民運動を展開するとともに、幼児や高齢者に対する交通安全教室を開催し、交通事故の削減に努める。
③ 県民総ぐるみによる防犯まちづくりの推進	自主防犯活動を推進するため、防犯教室やキャンペーン等により県民に対して普及啓発を図るとともに、防犯ボランティアステップアップ講座を通じて防犯ボランティア活動のレベルアップを図る。